

伝承ホール寺子屋
公開講座「特別版」



写真：福山紀信

日本舞踊への誘い

五耀會

2018年2月3日(土)

午後2時開演(午後1時30分開場)

渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール(6階)

出演：五耀會(西川箕乃助/花柳寿楽/花柳基/藤間蘭黄/山村友五郎)

司会・進行：鈴木英一(伝承ホール寺子屋プロデューサー)

全席指定：2,500円(税込) 12/1(金)10時発売開始

【チケットお申込み・お問合せ】

■電話・インターネット予約
チケットぴあ TEL.0570-02-9999【Pコード:481-832】

■直接販売・お問合せ
渋谷区文化総合センター大和田(3階)ホール事務室
TEL.03-3464-3252(受付時間 10:00~19:00)

渋谷区民先行優待販売 全席指定:1,500円(税込)
11/11(土)から文化総合センター大和田(3階)ホール事務室にて。
なくなり次第販売終了。区内在住、在勤、在学を証明できるものを持参。

※本舞踊見学の入場ご同伴はご遠慮ください。お車椅子席はホール事務室にお問合せください。※12/29~1/3は休館日となります。

主催 **渋谷区** 協力：公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団



写真:後山紀信

2009年、日本舞踊界を代表する実力派舞踊家の西川箕乃助、花柳寿楽、花柳基、藤間蘭黄、山村友五郎の五人が各流派を越えて集い光に向かって羽ばたくという希望を込め「五耀會(ごようかい)」を結成した。伝統を守りながら新しい感性と卓越した技術で、日本舞踊の普及と発展のため精力的に活動している。

五耀會

日本においては、伝統藝能全般が現代人の多くから興味を持たれない残念な文化土壤となっています。三年後にオリンピック開催を控え、自分たちの伝統文化を紹介できないのは実に残念なことであります。当渋谷区主催・伝承ホール寺子屋ではその環境を変えたいと一年を通じて区民が伝統藝能を学んでいます。このような状況に一番危機感を感じているのは「日本舞踊」というジャンルかも知れません。近年、五人の舞踊家が意を決して立ち上がりました。すなわち西川箕乃助氏、花柳寿楽氏、花柳基氏、藤間蘭黄氏、山村友五郎氏による「五耀會」の発足です。身体、精神調和取れ、花実備わった藝の充実期にある五人は各地でめざましい活躍をなされ、いま日本のみならず世界の舞踊界に大きな影響を与えつつあります。昨年当塾の公開講座にお迎えし、「日本舞踊への誘い」特別版を開催して頂いたところ、大絶賛、大反響。子供たちが舞台の真似をして帰途につく様子を見て、終演後すぐさま今年度の公演をお頼みいたしました。今回も楽しんでよし、学んでよしの魅力たっぷりの舞台が展開されること請け合いです。前回は早々に完売御礼。さあ確実に前売り券をおさえましょう。

鈴木英一(伝承ホール寺子屋プロデューサー)



西川箕乃助(にしかわみのすけ)

西川流十世宗家西川扇藏(人間国宝)の長男として生まれる。早稲田大学を卒業後、ロンドン大学SOASへ留学、ついでラバンセンターに入学し、モダンダンス・バレエ・舞踊理論を専攻するという異色の経歴を持つ。平成5年より日本大学芸術学部演劇学科非常勤講師に就任。同年、五代目西川箕乃助を襲名。主宰する「西川箕乃助の会」は15回を数える。NHK大河ドラマや映画などの所作指導、宝塚歌劇やOSK等、舞台の振付も多数手掛けている。花柳壽應賞新人賞受賞、松尾芸能賞新人賞受賞。



花柳寿楽(はなやぎじらく)

二世花柳錦之輔の長男。人間国宝である祖父、二世花柳壽楽に師事。昭和47年、『土蜘蛛』の石神で初舞台。平成2年、三代目花柳錦之輔を襲名し、平成21年には三代目花柳寿楽を襲名。歌舞伎や蜷川幸雄作品の振付、宝塚歌劇やOSK、ジャニーズなどの舞踊指導にも力を注ぐ。また、「花柳寿楽舞踊会」を主宰し、国立劇場養成課の講師なども務める。芸術選奨文部科学大臣賞、文化庁芸術祭新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会新人賞、松尾芸能賞新人賞を受賞。



花柳基(はなやぎもとい)

母・花柳秀、6歳から二世花柳壽楽師に師事する。国内の数々の舞台やテレビ出演に加え、海外公演、そして日本大学芸術学部演劇学科、日本体育大学武道学科、埼玉県立芸術総合高校に於いて後進の育成に努める等、様々な活動を続けている。主宰する「基の会」では花柳流の作品を中心に古典の研鑽を重ねると共に創作や新作も手がけ高い評価を得る。芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会賞、松尾芸能賞新人賞等受賞。花柳流花柳会理事。



藤間蘭黄(ふじまらんこう)

藤間蘭景の長男として生まれる。人間国宝である祖母・藤間藤子、母・蘭景に師事。昭和43年、第20回「紫紅会」にて初舞台。同53年、「藤間蘭黄」の名を許される。平成4年より「蘭黄の会」を主催する。今春は文化庁文化交流使として10カ国、14公演を行う。NHKドラマなど所作指導にも手腕を発揮。また、国内外の舞踊コンクールの審査員を勤めている。芸術選奨文部科学大臣賞、文化庁芸術祭新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会新人賞、松尾芸能賞新人賞を受賞。



山村友五郎(やまむらともごろう)

大阪を発祥とする上方舞山村流宗家の長男として生まれる。平成4年、早逝した母に五世宗家を追贈し、六世宗家山村若を襲名。流儀に伝わる演目の維持継承、復曲に努め、文楽・歌舞伎・宝塚等の振付に活躍する。同26年、長男に若の名を譲り三代目山村友五郎を襲名。3日間に亘る襲名披露公演の成果として日本芸術院賞を受賞。芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、同新人賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会新人賞等受賞。父は宝塚演道家植田紳爾。

- ※公演時間は2時間程度を予定しています(途中休憩有)。
- ※都合により出演者が変更になる場合がございます(不可抗力により表記日時の公演を中止する場合は、チケットの払い戻しは致しませんので、予めご了承ください)。
- ※場内での撮影・録音・飲食は固くお断り致します。



渋谷区文化総合センター大和田
SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21
<http://www.shibu-cul.jp>

- アクセス1: 渋谷駅より徒歩5分
国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスターの間に位置します
- アクセス2: 大和田シャトルバスまたはハチ公バス(タヤけこやけルート)にて乗車時間約2分
バス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

●お問合せ
渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室
(受付時間10:00~19:00)
TEL 03-3464-3252 FAX 03-3464-3289